環境マネジメントシステムを有効に運用していくためには環境教育が重要な要素となります。社員の意識向上やスキルアップなどを目的とした教育を実施するとともに、緊急災害時の人的被害を最小限に食い止めるための防災訓練も実施しています。

◎社内環境新聞「ハロー環境!」の発行

日頃、環境への配慮を呼びかけながらも、手ごろな教育資料、説明資料が身近に少ないことが痛感されます。

そのような観点から、グループ環境管理部では、2008年4月より「ハロー環境!」の発行を開始しました。現在は、国内従業員だけでなく、海外駐在員や海外社員(英語版)にも配布されています。

会社内の環境問題だけでなく、従業員に広く環境に興味を持ってもらえるよう、日常生活に活用できる環境記事や自然環境の記事の掲載にも努めています。

ミネベアグループ環境新聞
「ハロー環境!」

◎社員への環境教育

企業が事業活動を行うことで、あらゆる場面で環境への影響が生じます。そのため、ミネベアグループでは全ての社員を対象に環境教育に取り組んでいます。

地球環境問題やその対応などを説明した初歩の環境教育から、技術者や管理監督者に対する専門的な教育を行っています。

海外勤務からの帰国者や研修生、中途入社社員などへの教育も実施しています。

グループ環境対策委員長による、入社時の新入社員への環境教育

◎ISO14001内部監査員リフレッシュ研修

ミネベアグループの全製造拠点は、ISO14001の認証を取得し、環境保全活動に取り組んでいます。

ISO14001活動においては、自らの環境活動の取組みを検証するために、内部監査を実施し、確認にあたることが重要です。そして、その内部監査を的確に実施するためには、内部監査を担当する内部監査員のスキルアップは欠かせません。

ミネベアでは、社内研修制度で認定した内部監査員に対して、認定後も定期的なリフレッシュ研修を行い、各人の能力維持、アップに努めています。

内部監査員リフレッシュ研修の様子

◎防災訓練の実施（軽井沢工場、他）

軽井沢工場では地震や火災および油の流出等を想定して、緊急時の対応訓練を社員全員で毎年実施しています。地震発生時の初期対処後、直ちに災害対策本部を設営し、まず人名保護を最優先に、IDカードによる避難人員の確認作業を行います。

その後、火災の発生を想定した放水訓練や心肺蘇生法とAED（自動対外式除細動器）の講習なども行っています。

消火班による放水訓練

心肺蘇生法とAEDの講習

避難の様子

救護班の待機

◎地震体験車による模擬体験（軽井沢工場）

2008年10月に佐久広域連合消防本部から地震体験車が来所し、社員が体験しました。

この地震体験車は、過去に発生した地震を再現することができ、実際に起こった地震の凄まじさを体験できました。同時に事前の対策が被害を軽減する上で大切であると実感しました。

地震体験車による模擬体験